

平成 28 年度

事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人 八王子市学園都市文化ふれあい財団

I 平成 28 年度財団経営の総括

平成 28 年度は、第 2 次中期経営計画の初年度として同計画に掲げる施策・目標の達成と、当年度経営方針に基づき、全事業に対して鋭意取り組みました。

事業面では、指定管理者として 3 文化施設と 18 市民センター、14 地区会館、1 公園を管理運営し、約 230 万人の方に利用いただき、夢美術館では特別展を 4 回開催し、約 2 万人の方に鑑賞いただきました。地域コミュニティ推進のため、八王子まつりにおいて「ギネス世界記録に挑戦」など魅力あるイベントを行い、財団が関わる 4 つのお祭りで、150 万人近くの方々に足を運んでいただきました。また、学園都市大学では約 5,600 人に受講いただき、上柚木公園で行った財団の自主事業には約 11,000 人の参加をいただきました。このように大変多くの市民の皆様をお迎えすることができ、更には計画した事業を順調に完了することができた結果、それぞれの事業で高い評価をいただいております。このほか、上柚木公園の指定管理の指定申請については、今まで積み上げてきた事業実績をアピールするとともに、提案書には新たなニーズや社会環境の変化に対応した事業を加えて提出し、指定を得ることができました。

経営面では、利用者の高齢化や大規模公演の減少により利用料金収入は対予算で未達成でありましたが、新電力(PPS)の導入や原油安で光熱水料費を削減できたこと、人員体制の見直しで人件費を縮減したこと、複数年契約や複数館契約で清掃などの委託料等の増を抑えたことなどにより事業活動収支(経常収支)において「収支差額の黒字」となりました。

このように平成 28 年度は、事業面及び経営面ともに当初の目的を達成することができたものと考えております。

1. 中期経営計画(平成 28 年度)

(1) 中期経営計画の重点施策と結果

- ① 魅力ある芸術文化事業を全市的に展開し、「芸術文化薫る魅力都市八王子」を市内外に発信する
⇒ 約 1 ヶ月に渡り開催した「八王子音楽祭 2016」では、2 万人を超える方が会場に足を運んでくださいました。また、新たな事業である多摩伝統文化フェスティバル「伝承のたまてばこ」では、約 3 万人の方に多摩の伝統文化に触れていただきました。リニューアルオープンした夢美術館では、企画展が好評で、中でも「イギリスからくり玩具展」には幅広い層にご来場いただくことができました。
- ② 子ども・市民の文化活動、地域コミュニティ活動を支援し、豊かな市民生活実現と地域コミュニティ活性化に貢献する
⇒ 子供向けの事業として「八王子ふれあい子どもまつり」や「オーケストラワンダーランドへようこそ!」の開催、劇団四季が行う「こころの劇場」への協力、「夏休み子どもいちょう塾」、小学生陸上競技大会「はちおうじダッシュ!」の実施、八王子ユース弦楽アンサンブルの育成、音楽や伝統文化のアウトリーチなど数多くの事業を展開したほか、「メサイヤ」や「南大沢コミュニティオペラ」などのワークショップなどの文化活動への支援を行いました。また、市制 100 周年プレ記念事業として八王子まつりで行われた「民踊流しギネス世界記録に挑戦」では、2 つの記録を更新するなど、コミュニティ活動の推進へ大きく貢献しました。
- ③ 指定管理施設において、万全な維持管理と常に進化する運営でお客様満足度の最大化を図る
⇒ お客様の声対応システムの運用等による高い利用者満足度(平成 28 年度お客様満足度文化 4 館平均 95.7%)を維持するなど、ISO9001(品質マネジメントシステム)における平成 28 年度の審査は維持可能の評価を受けました。上柚木公園については指定管理申請に向けて課題の把握・分析と具体的な計画立案の取り組みを行った結果、第 4 期の指定管理者の指定を受けることができました。このことは、これまでの安定的な事業や地域と連携した取り組みが評価されたものと受けとめています。

④経営基盤の強化を図る

⇒新電力(PPS)の導入やLEDへの切替えにより光熱水料費を削減するとともに、人員体制の見直しによる人件費の縮減、予算執行管理の徹底等により財政収支を改善し、平成28年度は5,000万円を超える黒字を計上し、財団の経営を安定化させました。

(2)課題と展望

第1に、より付加価値の高い芸術文化事業を展開していくためには、劇場法に掲げる専門人材の確保や育成が継続的な課題です。また、地域のコミュニティの担い手が高齢化しており、次世代への引き継ぎも課題となります。ユースオーケストラや市民参加のオペラなど専門性の高い事業の業務遂行に必要なノウハウやスキルを習得し、アートマネジメント力の底上げを図るとともに、大学等との連携による人材を活用していきます。また、リーダー養成講座を開催し、新たな地域コミュニティの担い手の育成を目指します。

第2に、本財団が行う事業や管理施設を市内外に対して認知度を高めなければなりません。また、まだ十分とはいえず、情報発信力の強化が課題です。財団の情報紙やホームページのリニューアルを行うとともに、各事業の実施に当たってマスメディアやSNSなどにより情報発信して周知を行うことで、財団の存在感が発揮できるよう努めます。特に八王子まつり、八王子大音楽祭、伝承のたまてばこなどは、多くの媒体で取り上げられることが重要だと考えており、様々な方法による情報発信を行います。また、夢美術館においては地元作家の収蔵品データの整理を進め、ウェブサイトでの公開等を検討します。

第3に、東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成や学園都市ブランド構築のため、新たな事業展開が課題となっています。上柚木公園陸上競技場によるイベントや東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムに選定された伝承のたまてばこなどを通して、その魅力を高めるとともに、大学等との連携事業をより発展させていくことで大学コンソーシアム八王子の存在感を示していきます。

第4に、指定管理施設では、伸び悩んでいる利用料金収入の上積みと参加者の減少が続いている事業などの見直しが課題となっています。幅広く市民のニーズを把握、分析することで、新しいサービスや事業の迅速な実施につなげていかなければなりません。また、安心安全な施設運営をする上で、老朽化対策が課題であり、施設保全計画を策定し八王子市へ提出し、協議を重ねます。

II 事業概要

1. 芸術文化の鑑賞、活動の普及・支援

(1) 実演芸術*

① 鑑賞機会の提供

ア. 芸術文化会館（いちょうホール）

「TSUKEMEN LIVE 2016」や「フォレスタコンサート」「松竹大歌舞伎」など質の高い公演のほか、市内出身のアーティストを紹介する「第1回クラシックショーケース」を実施しました。



松竹大歌舞伎

イ. 南大沢文化会館

開館 20 周年を記念し、「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」などの公演を実施したほか、ホールの特徴を活かした「南大沢で JAZZ の名曲を」シリーズや南大沢コミュニティオペラ 2017「チャルダッシュの女王」を実施しました。



真夏の夜の JAZZ2016

ウ. 学園都市センター

本財団アドバイザー中山博之氏の企画、制作、出演による「八人の王子たち」公演を八王子音楽祭のなかで、実施しました。

エ. オリナスホール八王子

音響効果の優れたホールを最大限に活かし、東京都交響楽団による「ドラゴンクエストコンサート」や本財団とパートナーシップ協定を締結している東京交響楽団による「第1回八王子定期演奏会」に中村紘子さんをお迎えして開催したほか、市民合唱「メサイア」公演、「高嶋ちさ子と12人のヴァイオリニスト」を主催しました。また興行性の高いミュージカル、ポピュラー、バレエなどの鑑賞事業を誘致し、市民に多彩な芸術鑑賞の機会を提供しました。



東京交響楽団「第1回八王子定期演奏会」

※実演芸術

実演により表現される音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の総称。（劇場・音楽堂の活性化に関する法律 第2条）

② 市民参加型普及

ア. 芸術文化会館（いちょうホール）

「八王子音楽祭 2016」を公演回数・出演者数ともに拡充して実施したほか、通年で実施しているロビーコンサートの出演者による「ステップアップコンサート」や「初心者のための茶道教室」など、会館施設の特徴を活用した事業を継続実施しました。また、東京交響楽団とのパートナーシップにより、楽団員が講師となって直接小学生から25歳までを指導するワークショップ型のユ



八王子音楽祭 コーラス セレオにて

ースオーケストラ育成事業や、市民で結成した八王子クリンゲンコア及び八王子祝祭合唱団の合唱の練習を通年に渡り実施しました。

また、高校生や大学生などが制作した演劇をそれぞれの団体が上演する「学生演劇フェスティバル」を新たに実施し、演劇の普及や若い力の支援を行いました。

イ. 南大沢文化会館

南大沢地域の市民団体などと協働し、「青少年のための南大沢音楽祭」や地域で活動する音楽サークルなどによる「南大沢地域音楽祭」を開催したほか、地域の大学生を講師などに招き小中学生を対象にしたダンスワークショップと発表会、市民バンドの交流事業、ホールを見学するバックステージツアーなどを実施しました。

また、南大沢コミュニティオペラ 2017「チャルダッシュの女王」上演のため、プロの音楽家や演出家の指導のもと、市民や学生とホールスタッフが共にワークショップを通じた舞台制作を行い、市民参加による音楽の普及に努めました。



南大沢コミュニティオペラ
「チャルダッシュの女王」

ウ. オリンプスホール八王子

ファミリー向けコンサート「オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！」では、指揮者体験・楽器紹介教室・バックステージツアーのほか、八王子ユース弦楽アンサンブルと東京交響楽団との共演を実現しました。

エ. その他

「八王子音楽祭 2016」では、前年度に引き続き街中イベントとのコラボレーションのほか、中心市街地や郊外のカフェ、商業施設などで多くの市民が自ら参加し演奏する機会を提供しました。

また、市民の芸術・文化事業への参加意識の高まりに応えるため、公演時のもぎりなどスタッフ業務の一部を担う市民サポーターを募集し、公演を支える体制づくりを推進しました。

③ 鑑賞型普及

ア. 芸術文化会館（いちようホール）

八王子市の財産である八王子車人形が、ニューヨークの人形遣いとコラボレーションした新しい企画公演「Shank's Mare 膝栗毛」を開催したほか、東京交響楽団メンバーによるトーク付の「アフタヌーンコンサート」を実施し、伝統文化やクラシックの普及に努めました。

イ. 南大沢文化会館

市民アーティストや音楽大学のOBなどの出演により、平日の午前中にホール周辺の市民が気軽に楽しめる「モーニングコンサート」の継続実施や、次年度オリンプスホールで実施するオペラ公演の関連企画による「アフタヌーンコンサート」を実施しました。

ウ. 学園都市センター

東京交響楽団メンバーによるトーク付きの「アフタヌーンコンサート」のほか、南大沢コミュニティオペラのプレコンサートを実施しクラシック音楽の普及に努めました。

エ. オリンプスホール八王子

次年度のオペラ公演関連企画の「アフタヌーンコンサート」を実施したほか、劇団四季と提携し、市内小学校を招待して質の高い演劇を鑑賞する事業「こころの劇場」を初めて本市

で開催しました。

オ. 学校アウトリーチ

東京交響楽団メンバーを市内小中学校へ派遣し、わかりやすい楽器紹介や生演奏を通じて、子どもたちが本物の音楽に直に触れる機会を提供しました。

カ. その他

「八王子音楽祭 2016」では、市内商業施設のイベントスペースや街中カフェなど様々な会場で約1ヶ月に渡り数多くの公演を実施し、市民が身近に鑑賞する機会を提供しました。また、アーツカウンシル東京・八王子市との共同主催により、街中の商店街や寺社などで八王子車人形・芸妓衆の舞踊や秋川歌舞伎など多摩地域の伝統文化を実演し広く紹介する「伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2016」を初開催し、企画、集客、注目度ともに多くの成果を上げることができました。

このほか、市民が参加、体験を通じて八王子の伝統文化に触れる機会を創出することが目的の伝統文化ふれあい事業の実行委員会事務局を継続して担当し、実演家や八王子市などと連携し、車人形、説経節、篠笛の体験講座やその発表会などを実施しました。



芸妓衆お練り



車人形

④ 支援・助成

市民の芸術文化活動に対する支援のため、市民が主催する芸術文化事業に対し、当日の運営や舞台作りのアドバイスなどの人的支援や会場利用料の一部助成などを行いました。また、八王子市民文化祭実行委員会及び八王子市とともに、「第66回八王子市民文化祭」を共同主催しました。

⑤ 文化施設の管理・運営（指定管理事業）

芸術文化会館（いちょうホール）、南大沢文化会館の指定管理者として、利用者満足度向上のため、指定管理申請における提案書に基づき、利用案内、施設貸出、利用料徴収などの業務及び施設や設備の保守管理業務などで適正な管理運営を行うとともに、施設利用の促進に努めました。これにより、平成28年12月にISO9001（品質マネジメントシステム）における審査は維持可能の評価を受けました。また、「エコアクション21」は中間審査を受け、継続に向け改善・修正を進めています。

芸術文化会館（いちょうホール）では質の高い芸術文化公演の鑑賞機会や市民参加型事業の拡充のための事業を行っています。特に芸術文化に親しむ市民の裾野拡大のために、「八王子市民文化祭」の主たる会場となり、八王子市民文化祭実行委員会、八王子市とともに主催事業として実施しました。

南大沢文化会館では地域文化の向上を目的に『元気な街』南大沢協力の会、地域の青少年対策地区委員会や学校運営協議会などの地域を支える団体への参画による事業を実施しました。

ア. 芸術文化会館（いちょうホール）

入場者数 231,994人 施設利用率 82.1%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 94.8% (大いに満足と満足の合計)

イ. 南大沢文化会館

入場者数 139,347人 施設利用率 88.9%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 97.1% (大いに満足と満足の合計)

(2) 美術(夢美術館)

夢美術館指定管理者として、施設の維持管理、収蔵品の保管を適切に行い、展覧会の開催を行いました。収蔵品の管理については空調機器更新工事に伴う休館期間中に約1,400点の作品整理、輸送の立会いなどを行いました。また、併せて展示室のリニューアルを行いました。

① 美術鑑賞

三つのテーマ、「国内外の優れた美術品の紹介」「現代の息吹と未来への展望」「地域性と普遍性」に沿って近代絵画、玩具、公募展の特別展を年間で4回開催し、これに合わせ関連グッズなどの物品販売を行いました。

また、常設展(収蔵品展示)では約1,400点の収蔵品から八王子にゆかりのある画家、版画家について紹介しました。

ア. 国内外で高い評価を受けている優れた美術作品などの紹介においては、女性を主題にした明治以降の洋画を紹介する「描かれた女たち」展を開催しました。

イ. 現代の息吹を感じ未来を指向する、学生や子供たちも楽しめる展覧会として、「イギリスからくり玩具展」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

ウ. 地域ゆかりで国内トップレベルの美術作品などの紹介においては、工事休館再開後に収蔵品による「夢美セレクション展」を開催し、八王子にゆかりの洋画家、版画家である小島善太郎氏、鈴木信太郎氏、大野五郎氏、城所祥氏、堀井英男氏、清原啓子氏の作品を紹介しました。



「イギリスからくり玩具展」展示風景



「夢美セレクション展」展示風景

② 市民参加型普及

ア. 八王子市在住・在勤・在学者による公募展「市民公募 夢美エンナーレ」を開催し、188名、188点の出品から70作品を選出し入選作品展を開催、大賞ほか13の賞を授与しました。

イ. 南大沢文化会館を会場としてフェルトアートの第一人者中山みどり氏による造形教室を開催しました。

ウ. 多摩美術大学との共催で、八王子出身で同大学卒業の銅版画家清原啓子氏の作品共同研究及び「視覚障害者を含む全ての人に開かれた作品についての実践的研究」を行い、東京造形大学との共催では、地元商店街とも連携し、学生による「東京造形大学フラッグギャラリープロジェクト」を開催しました。



「市民公募 夢美エンナーレ」表彰式



造形教室「羊毛フェルトでかわいい動物をつくろう」

③ 鑑賞型普及

ア. 「描かれた女たち」で東京文化財研究所副所長の日本近代絵画の研究者山梨絵美子氏、「イギリスからくり玩具展」で東京造形大学教授で玩具研究者春日明夫氏ほかによるギャラリートークを開催し、多くの方に参加していただきました。

イ. 市内画廊めぐり「八王子画廊散歩」を共催し、スタンプラリーを実施しました。



「描かれた女たち」ギャラリートーク

④ 管理・運営

施設、設備、備品、収蔵品の適正な管理、および受付業務（観覧料の徴収など）を行いました。空調機器更新工事のため4月1日より7月22日までの休館期間には工事に伴う全収蔵品の搬送のため作品整理を行い、市の受託業者とともに外部美術品保管倉庫に作品を搬送し管理しました。また、工事に併せて展示室のリニューアルを行いました。



収蔵品整理・搬送

開館日数 181 日施設利用・事業参加者数 22,200 人

(うち展覧会入場者数 18,216 人)

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 92.2%

(大いに満足と満足の合計)

(3) 彫刻活用事業

市内に設置された104基の彫刻を広く市民に周知することを目的とした「第7回彫刻写真コンクール」を実施しました。入賞作品は2月の1か月間、いちようホールロビーに展示しました。(応募作品数121点、応募者32名)

2. コミュニティづくりに関する事業

(1) コミュニティの育成

ふれあいのあるまちづくりの推進及び地域住民の交流促進を図るとともに、地域コミュニティの高揚及び啓発を図るため、次の事業を実施しました。

① コミュニティづくりの活性化

地域住民の交流の場の提供及び地域コミュニティの一層の活性化を図るため、住民協議会と協働し、どなたでも気軽に参加できる「簡単手作りお菓子教室」のほか、子どもたちを対象とした「バスケットボール教室」などを市民センターで実施しました。また、災害に備えた「防災コミュニティ講座」を行いました。



バスケットボール体験教室

② 住民協議会連携事業

地域コミュニティの醸成を図るため、市民センターを中心にコミュニティ活動を実践している住民協議会活動の一部をいちょうホールで紹介しました。

また、17 住民協議会の情報交換などを行うため、定例会及び講演会を行いました。



防災コミュニティ講座

③ コミュニティ用具の貸出し

コミュニティ活動に供するため、住民協議会ほか各種団体に用具の貸出しを行い、市民センターまつりなどで活用されました。

④ 地区図書室の運営

読書活動の活性化と地域住民の交流を図るため、住民協議会と連携し地区図書室を開設し、「図書の貸出し」や「読み聞かせ」、「古本市」などを行うとともに八王子市図書館の蔵書のリクエスト受付及び貸出・返却業務などを担いました。

また、中央図書館に地区図書室向けのリサイクル本の寄贈を依頼し、5 地区図書室に 240 冊の寄贈を受けました。加えて、地区図書室間の情報交換の場として中央図書館職員を交えて地区図書室連絡会や地区図書室運営部員を対象に、中央図書館との共催による研修を行いました。

(2) コミュニティ活動の支援

地域コミュニティの一層の活性化を図るため、住民協議会や八王子まつり、フラワーフェスティバル由木及び八王子いちよう祭りなどの開催経費の一部を助成しました。

① 住民協議会への助成事業

コミュニティづくりの中心的推進団体である 17 地域住民協議会の活動を支援するため、運営費のほか、広報紙の発行費用、地域住民のニーズに応じて開催される「地域ふれあい講座」の開催経費の一部をそれぞれ助成しました。

② まつりへの助成事業

「八王子まつり」をはじめ、「フラワーフェスティバル由木」「八王子いちよう祭り」、「踊れ西八夏まつり」の開催経費の一部をそれぞれ助成したほか、「八王子まつり」及び「フラワーフェスティバル由木」の事務局を担当しました。

なお、市制 100 周年プレ記念事業として実施しました八王子



八王子まつり

まつり「民踊流しギネス世界記録に挑戦」では、「最多人数で踊る盆踊り (Largest bon dance)」、「浴衣を着た最多人数 (Most people wearing yukata)」の 2 つの種目で、2,130 名の新記録を達成しました。

また、八王子いちよう祭りでは、地元出身のリオデジャネイロ・オリンピック柔道女子 52 kg級銅メダリスト 中村美里選手の凱旋パレードを行いました。

(3) コミュニティ施設の管理・運営

市民センター18 館及び地区会館 14 館の指定管理者として、住民協議会や地元町会・自治会などと連携し、利用者満足度の向上を図れるよう、利用案内、施設貸出及び利用料徴収などの業務、施設や設備の保守管理業務を行いました。

また、地域コミュニティの推進を図るため、市民センター内に一人でも気軽に立ち寄れる「地域ふれあいサロン」を住民協議会やコミュニティ推進員と連携・協働し 3 地区で実施しました。併せて、市民センター内に設置した地域情報コーナーを通して、各地域の住民協議会をはじめ、町会・自治会・利用団体などの情報を発信しました。

なお、8月22日の台風9号襲来の際には、市からの要請を受け、川口・加住・横山南及び浅川の 4 市民センターを避難所として開設し、住民協議会の協力のもと、避難者の受け入れなど、その役割を果たしました。

利用者数 1,462,369 人 施設利用率 59.7% ※区分利用率

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 96.7% (大いに満足と満足の合計)

※市民センターの区分利用率は午前・午後 (A・B)・夜間 (A・B)

それぞれの利用区分数の合計を利用可能区分数で除した率

3. スポーツ活動と公園利用の促進及び公園・運動施設の管理運営に関する事業

(1) スポーツ活動の促進

上柚木公園における市民のスポーツ活動の促進を図るため、ライフステージに応じた 17 のスポーツ事業を実施しました。特に「はちおうじダッシュ！」では市内陸上競技関係者の協力や教育委員会の後援により 50m走競技や大学陸上部員による走りのクリニックを実施し、市内 63 小学校から 560 人が参加しました。また、「テニスビギナーズスクール」を日本工学院八王子専門学校の協力により開催したほか、「ジュニアジョギングスクール」をコニカミノルタ陸上部・JR 東日本ランニングチームの協力により開催するなど施設の活用と市民のニーズに応えました。



はちおうじダッシュ！

(2) 公園利用の促進

上柚木公園の貴重な環境資源を活かすため、植物・野鳥調査を実施したほか、希少植物育成のため雑木林の下草刈りを実施しました。また、四季の樹木を観察しその生命力を学ぶ「新緑と花を楽しもう」などの観察会や、園内の竹やマツなど環境資源を活用した「松竹梅の花あそび (竹の花器づくりと生け花)」など 11 の公園事業を実施し、利用の促進に努めました。また、地域連携に支えられた公園マネジメントの展開として、青少年対策地区委員会と連携した防犯への取り組みや情報共有、地域アドプト団体との協働による花壇管理や美化活動に加え、小学校との協働による「樹木プレート制作」などを行いました。



松竹梅の花あそび

(3) 公園・運動施設の管理運営

運動施設を含む上柚木公園の指定管理者として、使用受付・貸出及び利用案内、使用料収納事務などの運營業務を行いました。また、施設や設備の保守管理や、高品質なスポーツターフ管理などの運動施設管理業務、安全安心の遊具管理など適正な公園施設管理業務を行いました。

運動施設利用人数 276,379人 施設利用率 82.8%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 97.65%(大いに満足と満足の合計)

4. 学園都市づくりに関する事業

(1) 大学コンソーシアム八王子

① 大学等連携事業

大学コンソーシアム八王子に加盟する 25 大学等と連携し、「夏休み子どもいちょう塾」を拡大して、初めて 2 日間開催としたほか、「小中学校教職員のための大学等出前授業見本市」、「FD・SD フォーラム」、「大学理事長・学長と市長との懇談会」などを実施しました。



夏休み子どもいちょう塾

② 情報発信事業

情報紙「大学コンソーシアム八王子情報」及び新入生のための生活便利帳「シティインデックス八王子」を発行したほか、ウェブサイトによる情報発信を行いました。

③ 学生活動支援事業

「八王子地域合同学園祭第 11 回学生天国」の開催支援、学生企画事業への補助金支援、第 37 回八王子いちょう祭り学生広場の運営支援などを実施しました。



学生企画事業成果報告会

④ 産学公連携事業

学生が日頃の研究成果などを市政や企業に提案する「第 8 回学生発表会」のほか、新たに「八王子学生 CM コンテスト」などを実施しました。

⑤ 外国人留学生支援事業

「外国人留学生坐禅・茶道体験会」、「八王子まつり山車曳き体験」、外国人留学生の生活支援や地域との交流を目的とする「留学生座談会」などを実施しました。



留学生座談会

⑥ 八王子市学園都市推進会議事務局

八王子市学園都市推進会議の事務局を担当し、「八王子地域合同学園祭ビッグウェスト学生フェスティバル 2016」や、「BWO 学生落語会」などを実施しました。

(2) 学園都市大学（いちょう塾）の運営

八王子学園都市大学（いちょう塾）において、大学コンソーシアム八王子加盟の 25 大学等を含む講座提供機関 32 機関より提供された 298 講座を開講しました。

また、受講生の募集のため、講座案内 13,000 部及び市広報特集号 572,460 部を作成して周知を行った結果、年間受講者数は 5,646 人となりました。

(3) 学園都市センターの管理運営

学園都市センターの指定管理者として、利用者満足度向上のため、指定管理申請における提案書に基づき、利用案内、施設貸出、利用料徴収などの業務及び施設や設備の保守管理業務などで適正な管理運営を行うとともに、施設利用の促進に努めました。これにより、平成 28 年 12 月に ISO9001 (品質マネジメントシステム) における審査で維持可能の評価を受けました。

入場者数 174,528 人 施設利用率 91.1%
利用者満足度調査結果 総合的な満足度 98.6% (大いに満足と満足の合計)

5. 財団情報紙「ラ♪ラ♪ラ」などによる情報提供に関する事業

芸術文化公演を始めとする各種催物などの情報や、本財団が管理運営する施設の利用案内を情報紙、インターネットなどを通じて市民に提供しました。

また、芸術文化会館 (いちょうホール)・南大沢文化会館・学園都市センターでは、施設のインターネット予約・検索サービスや、ホームページでイベント情報を提供しました。

6. 法人管理

(1) 財政収支改善、新規自主財源の開拓

財務収支改善を図るため、サービスの水準は維持しつつ、固定費以外の全ての支出について、複数年契約や複数館契約などの導入による契約方法及び執行方法を見直しました。また、13 施設 (芸術文化会館 (いちょうホール)、上柚木公園、市民センター11 館) 及び 1 事務所において、新電力 (PPS) による電気供給を導入し、電気料金削減による支出抑制をしたこと、人員体制の見直しによる人件費の縮減などにより 5,000 万円を超える黒字を達成しました。

また、将来の事業実施を安定的に行うため、特定費用準備資金「芸術文化振興資金」を設置し、計画的に資金を積み立てることとしました。

(2) 事務事業の改善、効率化の推進、コンプライアンスの徹底

平成 28 年度経営方針に基づき、財団運営基本方針を策定し、全職員に周知しました。

また、当年度の目標を達成するために作成した課別経営計画の進捗管理を行い、取り組みや効果を経営会議で報告し、情報の共有化を行うとともに、未達項目については見直しを行いました。芸術文化会館 (いちょうホール)・南大沢文化会館・学園都市センター 3 施設において平成 27 年に認証を取得した ISO9001 (品質マネジメントシステム) の運用を推進し、継続的な改善活動を定着させたことにより、平成 28 年度の審査は維持可能の評価を受けました。

また、新たなサービスの提供や改善活動に結びつけ、お客様満足度の向上を図るため、「お客様の声」を業務に反映させるためのシステムを財団内で徹底しました。

(3) 人材育成・人事管理

研修計画に基づき各種研修を実施したほか、プロ意識とホスピタリティー向上のため、「顧客満足度研修」を嘱託員・臨時職員対象に、外部講師を招聘して平成 27 年度に引き続き開催しました。また、サービス介助士の習得や安全衛生推進者講習、さらには指定管理事業計画で提案した防災介助士の取得や上級救急技能講習、特別管理産業廃棄物管理責任者講習に参加させるなど人材の育成を図りました。

高齢者雇用に対応するための再任用制度や、上柚木公園での副管理責任者の設置など働き方の多様化に対応した人事制度導入のための準備を行いました。